

新宮山彦ぐるーぷ第2019回―4
春季連休中の行仙宿への来宿者の対応と補修作業など

◇実施日：2019年05月04日(土) ～05月06日(月)
 ◇参加者：4日 志岐 敬、山本直子、岡崎謙一、片山久晴、川島 功、生熊敏男、乾 克己、山口泰宏、野崎 肇、沖崎吉信、梶野照雄。

5日 志岐 敬、山本直子、川島 功、生熊敏男、乾 克己、山口泰宏、野崎 肇、児嶋道夫、竹中卓治、高階美根子。
 6日 川島 功、生熊敏男、乾 克己、野崎 肇、沖崎吉信、梶野照雄。

参加者14名、延27名。

5月04日(土) 晴 (来宿者9名、テント4張)

沖崎宅に荷揚げ品(ビール2箱+コココーラ1箱+ガソリン缶+共食料)受取りに立寄ると、沖崎氏は単車で持経宿に出発済みで、生熊氏と合流し7時半に出発する。

五月晴れの下、色とりどりの新緑の山並みを眺めながら行仙宿登山口に9時前に到着し、荷揚げ品と各々の荷物をモノレールに積み込み終点へ。

山口さんから「9時半前に登山口着予定」の電話連絡があったので、生熊氏にモノレールを降ろし一緒に登る様にして貰う。

川島は、行仙宿補給路に道具をデポした地点に下り、横棧木取替え等の作業をする。程なく乾・生熊氏が降りて来られる。

山口さんと早く着いた沖崎氏は、行仙宿に荷揚げと山口さんは大ハンマー等の道具を持ちに登られたとのこと。

3人で補修作業を行い行仙宿で昼食にする為、11時前に作業を中断してモノレール終点に戻ると、5人(山口・志岐・沖崎・岡崎・片山)が行仙宿から降りて来られる。志岐・山口さんは昼食持参で作業加勢に降りて来たとのこと、此処での昼食を決める。

丁度そこに野崎さんが補給路を登って来られ6人(生熊・乾・川島・山口・志岐・野崎)で昼食。沖崎さん達は、行仙宿に荷揚げして下さる。



横棧木取替え作業

行仙宿から加勢に

昼食前に野崎氏合流

上部に置かれた棧木は、順次斜面を滑らせて下に落とし、くい丸・木杭以外の木杭は、取替え材の芯材部を使い先付けして調達する。6人での横棧木取替え等の補修作業なので、早目に第一ベンチ迄の作業を終える。ベンチを取り壊しベンチ再構築の棧木丸太5本を確保したが、モノレールでの使用が多くなり第一ベンチで休憩することは少なくなり、ベンチが無くても良いのではとの事から、ベンチ下の補給路の横棧木取替え補修に使用する事にした。



行仙宿補給路の横棧木取替え作業等



第一ベンチ手前での作業



ベンチ下での作業



ベンチ下での作業



沖崎さん達下山



コシアブラ採り

モノレール終点から第一ベンチ下までの補給路の補修作業が、14時前に完工し、寄贈材木丸太は約80本を使用した。各自道具(大ハンマー・トンガ等)を手分けして持ち、作業の出来映えを確認しながらモノレール終点に戻ると、沖崎・岡崎、片山さん達が下山して来る。川島、生熊、乾、野崎の4人は、自分のザックを担いで行仙宿へ。

途中、21番鉄塔下のコシアブラの芽が、天ぶらの具に適した伸び状態である。今秋に送電線修理と送電線下の樹木の伐採予定範囲内にあり、二股の太い幹を手鋸で切り、新芽を採り15時前

に行仙宿着く。

29日(昨日)まで連日20人を越える来宿者があり、今日も管理棟で夕食宿泊する事にして、各自の荷と食料を運び入れる。

3日朝から発電機が始動しないとの事なので、川島は点検するとエンジンオイルゲージが僅かに濡れている状態であり、オイル補充後に始動ハンドルを引くと、バチツと音がする、電気系統の故障? 再度始動ハンドルを思い切り引くとエンジンが始動した。故障原因は、オイル不足だった。

程なく梶野氏がビール1箱担いで補充、志岐・野崎さんモノレール終点に降りてコカコーラ各1箱荷揚げ。夕食まで時間に余裕があり皆で薪割りをして下さる。



薪作り作業

今年、行仙宿では来宿者や通過者の求めにより、ビール・コカコーラ・お茶の飲料水が売っている。盛況の様で追加荷揚げに追われている。

以前に飲料物販売の提案があったが、許可しなかった。これまでの行仙宿等での「もてなし」は、湯茶・コーヒーの無償接待と同席食事の際に、懇親と見聞を広める意で山菜天ぷら、干物、時には酒・ビールを無償提供して来た。その訳は南奥駆道に再来して歩いて頂きたい事と各管理宿小屋は多くの善意者により建てられたものでありそのお返しをする意味もあり、商売をする為の小

屋では無い。が、時代も変わり管理人が常駐する春季連休中のみは黙認したい。

17時過ぎからおでん、茹でホタルイカ・鯛、太刀魚等の刺身、山菜等の天ぷら(コシアブラ・空豆・スナップ豌豆・玉葱)の夕食。



くつろぐ来宿者



管理棟でおでん・山菜天ぷら等の夕食



管理棟でおでん・山菜天ぷら等の夕食

梶野氏18時過ぎに下山。LED電灯は暗くなり発電機を作動させて点灯し、20時に消灯。来宿者9名と少なくとも山口、川島は宿内に移り就寝。

管理棟は、22時前まで懇談しており、発電機の音と燃料節約もあり就寝を促す。

5月05日(日) 晴 (来宿者4名、テント3張)

5時にLEDを点灯するもバッテリー充電不足で点滅しだし、発電機を始動して点灯する。

山本、志岐、乾さんによって朝食の賄いをして頂き、生熊さん差し入れのサンマ味酥干し等で6時頃より朝食。

水汲み後8時頃から桧木丸太を3本担いで、先日沖崎さん達が、行仙宿にストックされていた間伐材丸太5本を21番鉄塔付近に担いでデポした補給路地点の補修作業に6人(乾・山口・生熊・志岐・野崎・川島)が赴き、横棧木8本の取替え等の作業をする。



朝食調理中



朝食



21鉄塔付近の作業



21鉄塔付近の横棧木取替え作業と作業後



会友の栗原・児嶋さん



作業を終え9時前に行仙宿に戻り小休止していると、山上ヶ岳の戸開け式に参加され昨夜持経宿に泊った会友・栗原氏が逆峯奥駈中に立寄られ、コーヒード小休止され9時50分に出立される。児嶋さんが、ストーブ天板の歪みによる煙漏れ修正とソーラー発電の点検に行仙宿に登って来られる。程なく竹中、高階さんも登って来られる

10時過ぎから佐田ノ辻側から間伐丸太3本と管理棟北側の第一サコ上から間伐丸太を7本程滑り落とし、小屋下から第一サコ間の横桟木取替え作業を7人(乾・山口・生熊・志岐・野崎・川島・竹中)で行う。

児嶋さんは、補給路の補修作業の間に煙対策として天板の曲がりハンマー等で叩いて平らに修正すると共にドラム缶天板に新たに直接鉄板を装着。バッテリーは当面コントローラを通さずに充電する様にしたとのこと。



第一サコから小屋下の補給路の補修作業

作業終了!

補給路の補修作業を10時50分頃に終わり、道具類を資材倉庫等に収納する。

山本、高階さんにより昼食の賄いをされたので、作業を終える

と直ぐに昼食となる。竹中・高階さんから干物・大内山牛乳製プリン・端午の節句の

「ちまき」を差し入れして下さった。



昼食



本日の作業者



管理人交代し下山



薪作り・薪割り



連休中しかも一番来宿者が多かった間の3泊4日の管理人をして下さった志岐・山本さん本当にお疲れ様でした。山口さんと共に12時45分には下山帰宅された。

13時頃から管理棟北側の尾根等に散在する腐倒木と少し曲がった間伐桧丸太をチェーンソーで薪材に小切り、竹中氏等が一輪車で運び、太いものは斧・鉄楔をハンマーで叩いて薪割りされる。乾・高階さんにより綺麗に積み直しされ、薪置場が略満杯になり14時前に終了する。

京都の行者白衣着用の登山者が、21世紀の森迄行きバスで明日帰りたいとのこと。無理なので尾鷲方面に帰宅する竹中車に同乗し尾鷲駅に送る事になった。時間があるので水汲に行として下りて貰う。

今後、登山者の路線バス時刻(北山村・十津川村)の間合せに對処するため、行仙宿内に路線バス時刻表を掲示したい。



薪割りと薪置場に運搬



日帰り者下山前休憩



日帰り者記念撮影

17時頃になっても来宿者は2名であり、宿内で夕食・就寝する事にする。賄いは乾さんをお願いする。絹さや豌豆とベーコンの卵とし、尾鷲組からのカマスの干物、生熊さんのサメの味醂干し等の夕食で、来宿者にも提供し賞味して貰う。

本日の来宿者は、4名(テント3張)で20時に消灯。乾さんは山岳図書を読むと管理棟に移るが、LEDが点灯せずに就寝。

5月06日(月) 晴後薄曇り

4時半にLED点灯するも、5時頃にバッテリー容量不足で発電機を運転して点灯する。

朝食を済ませ、毛布を天日干しする事にした。7時前からザイルロープ4本を張り管理棟屋根にも毛布を干し全てを干した。枕カバーが汚れており、洗濯あるいは新規購入する事にして持

ち帰り。

10時半頃より毛布叩きで叩いてから収納する。昼食はレトルトカレー。昼食を終えた頃に沖崎氏が、持経宿・平治宿の志納金回収を終えて、行仙宿の志納金回収に来られる。



毛布の天日干し



下山前に撮影



梶野氏とすれ違う

食事後発電機を始動させて掃除機で宿内を掃除し、行者堂の幟も撤収する。

管理棟、宿内の戸締りを確認し、12時45分にペットボトル・ビールと空のガス缶・空き瓶の廃棄物を持って下山すると、11日〜12日の大峰トレラン時に販売するココロラ在庫調査等に登って来られたが、立話程度に留め我々は下山した。

寄贈品

志岐 敬：電気炊飯器(5合炊き)。

(記：川島)